

受 払 台 帳 ( 金 属 く ず 商 )

受 入									払 出		
年月日	品 目	特 徴	数 量	代 価	相 手 方					年月日	住 所 氏 名
					住 所	職 業	氏 名	年 齢	確 認 方 法		

記載上の注意

- 1 品目欄には、(イ)銅線、銅管、銅板類 (ロ)ケーブル線類 (ハ)鉄線、鉄板、鉄管類 (ニ)鉛管、真ちゅう管類 (ホ)レール及びその部品類 (ヘ)鉄道電気通信、水道、ガス等の工作部品類 (ト)車両及びその部品類等については必ず1品ごとに記入し、その他については一括記入等簡記することができる。
- 2 特徴欄には、品目で特定できるものはそのものの特徴、例えば「何ミリ電線で長さ10メートルぐらいに切断」等と記入する。
- 3 数量欄には、その品目によって個数又は重量別を記入する。
- 4 代価欄には、取引上の代価を記載するが「委託」の場合は本欄にその旨を記入する。
- 5 相手方欄には、後日取引の相手を指定できるように記載するもので、平素取引行商人等で身元を知っているものは、同一帳簿に1回明記しその後は簡記してもよい。
- 6 確認方法欄には、確認の方法によった場合、例えば「何会社発行身分証明書、第 号」のように記入する。
- 7 相手方備考欄には、確認方法によった場合は、相手の人相、特徴等を記入する。